

2027年3月期第1四半期 決算の概要

Sustainability Design Company

「三方よし」で地域を幸せにする

SHIGA BANK

2026年7月
株式会社滋賀銀行

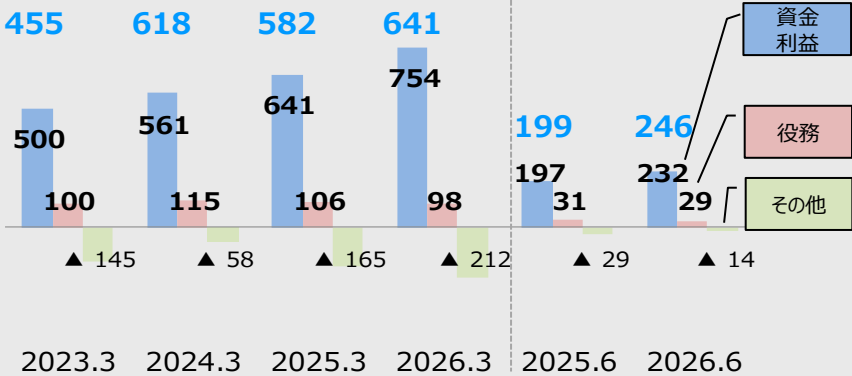
- 貸出金利息・有価証券利息配当金の増加により資金利益が拡大
- 四半期純利益は、単体・連結ともに第1四半期として過去最高を更新

業績概要（単体）

【単位：億円】

【単体】	項番	2025.6	2026.6	前年同期比	2027.3 計画	進捗率
業務粗利益	1	199	246	47	861	28.6%
資金利益	2	197	232	34	831	
うち貸出金利息	3	138	169	31		
うち有価証券利息配当金	4	105	116	11		
うち預金等利息（▲）	5	29	50	20		
役員取引等利益	6	31	29	▲1	85	
その他業務利益	7	▲29	▲14	14	▲54	
経費（▲）	8	113	128	14	528	24.3%
人件費（▲）	9	50	54	3	220	
物件費（▲）	10	52	61	8	269	
税金（▲）	11	10	12	2		
実質業務純益	12	86	118	32	332	35.5%
一般貸倒引当金繰入額（▲）	13	▲1	▲1	0	1	
業務純益	14	87	119	32	331	36.1%
臨時損益	15	1	19	17	79	
うち株式等関係損益	16	1	12	10		
経常利益	17	89	139	50	410	33.9%
特別損益	18	0	0	▲0	▲0	
税引前四半期純利益	19	90	139	49	410	
四半期純利益	20	65	97	32	282	34.4%
与信コスト（▲）	21	3	0	▲3	32	0.8%
【連結】四半期純利益	22	67	99	31	285	34.8%

業務粗利益推移（億円）



経常利益・四半期純利益推移

【単位：億円】

	2022.6	2023.6	2024.6	2025.6	2026.6
経常利益	120	130	77	89	139
四半期純利益	87	94	54	65	97
連結四半期純利益	90	96	57	67	99

■ B/S概要(単体、未残)

県内事業性貸出金は、3月末の資金需要の反動により減少したものの、地域事業者の資金ニーズには引き続き丁寧に対応

県内住宅ローンを中心に消費者ローンが増加

預金増加等により、預け金は一時的に増加

滋賀県債等の地方債を中心に投資し、前期中に売却した債券の一部を復元
国債はアセットスワップの一部を売却したことから減少

株価上昇により評価益が増加

総資産 7.9兆円

貸出金 【単位：億円】

	2026年6月末	2026年3月末比
貸出金	46,143	▲105
(滋賀県内)	(26,594)	(▲189)
うち事業性	28,551	▲106
(滋賀県内)	(11,103)	(▲105)
うち消費者	13,653	+246
(滋賀県内)	(11,607)	(+158)
うち地公体	3,938	▲245
(滋賀県内)	(3,883)	(▲243)

現金預け金 【単位：億円】

	2026年6月末	2026年3月末比
現金預け金	10,716	+606
うち日銀当座預金	10,383	+609

有価証券 【単位：億円】

	2026年6月末	2026年3月末比
有価証券	19,793	+2,506
うち国債	2,892	▲157
うち地方債	3,540	+528
うち株式	5,625	+1,932

負債 7.2兆円

預金等 【単位：億円】

	2026年6月末	2026年3月末比
預金等	61,178	+1,296
(滋賀県内)	(53,815)	(+1,174)
うち個人預金	43,202	+434
うち法人預金	14,104	+461
うち譲渡性預金	314	+4

借入金等 【単位：億円】

	2026年6月末	2026年3月末比
借入金	6,886	▲956
うち日銀借入金	6,880	▲956

純資産

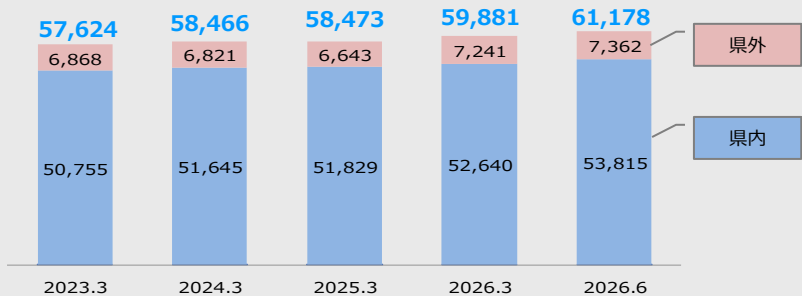
0.6兆円

預金残高は6兆円に到達
個人預金、法人預金
ともに増加基調を維持

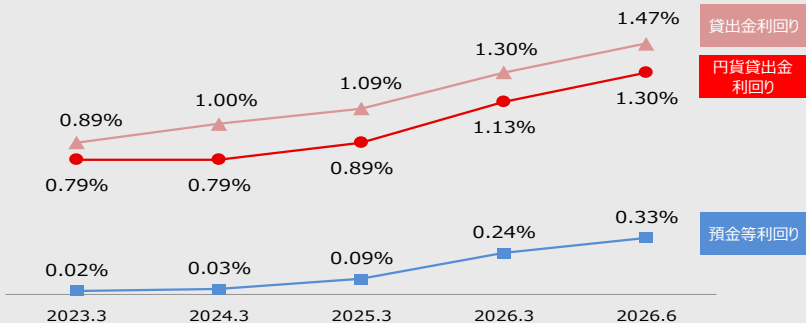
貸出増加支援制度の
終了に伴い、残高減少
2028年3月末までに
大半の期日が到来

- ▶ 高い県内シェアを背景に預金は順調に増加し残高6兆円に到達
- ▶ 政策金利の上昇に合わせて、預金、貸出金ともに利回りは上昇

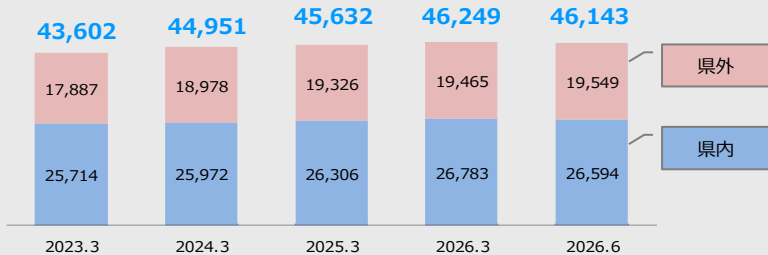
■ 総預金末残（億円）



■ 預金・貸出金利回り



■ 総貸出金末残（億円）



■ 滋賀県内 シェア

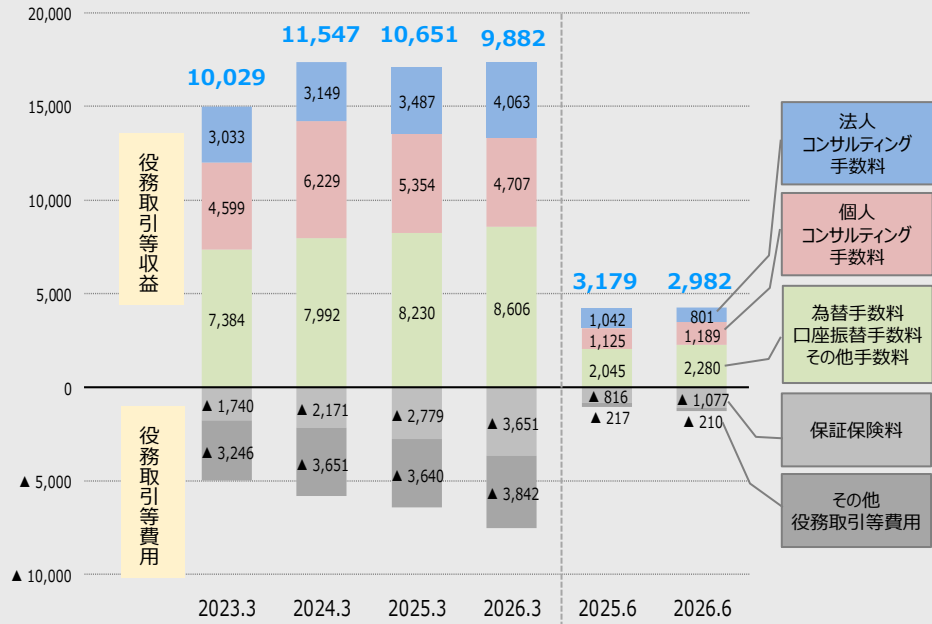
	2021.3末	2025.3末	増減
預金	46.42%	47.59% 地銀10位	1.17%
貸出金	48.92%	48.54% 地銀6位	△0.38%

（商工中金他一部の金融機関を除く）
※順位は金融マップ2026年版より

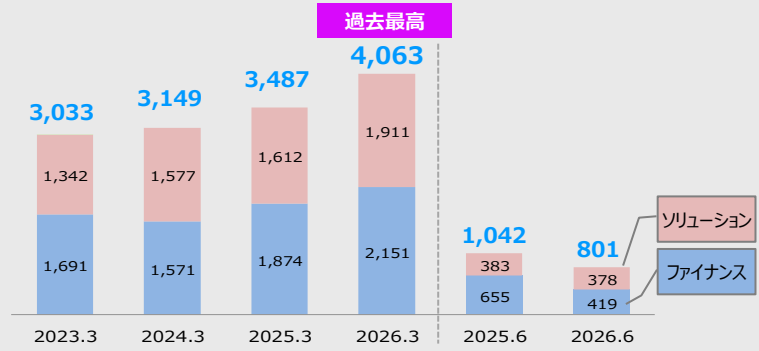
- 法人コンサルティング手数料は、シンジケートローン・M&Aにおける大口案件が前期あったことによる反動で減少
- 個人コンサルティング手数料は、資産形成における顧客アプローチの強化により、投信等販売が増加

■ 役務取引等利益

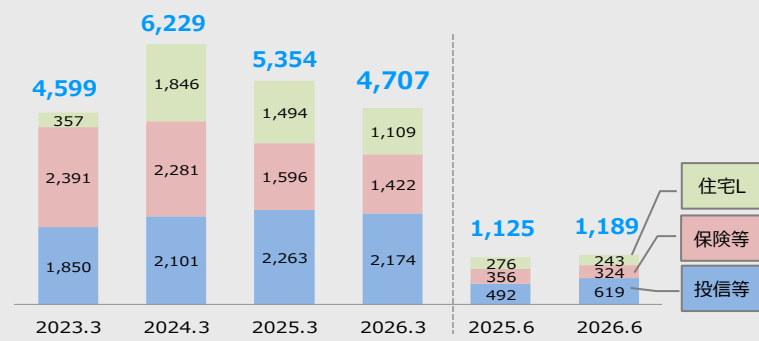
【単位：百万円】



■ 主な法人コンサルティング手数料 (百万円)

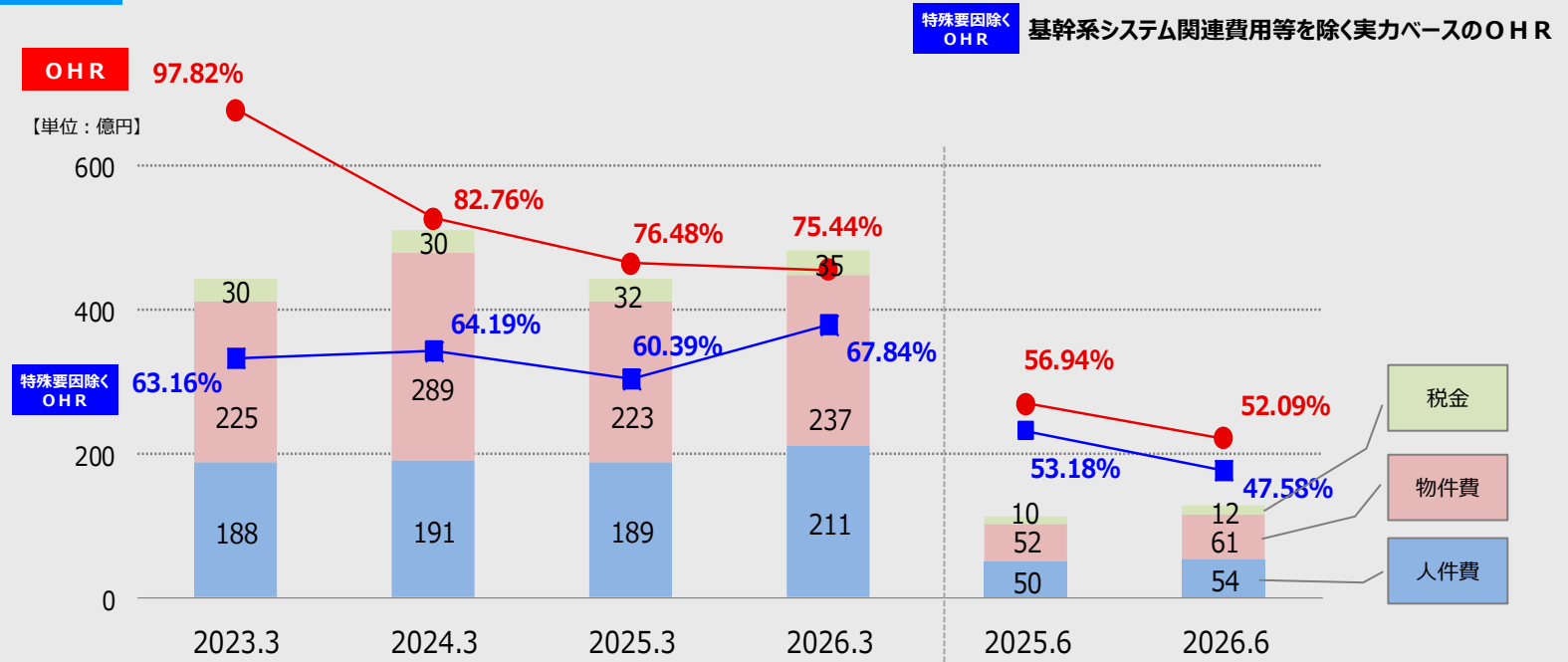


■ 主な個人コンサルティング手数料 (百万円)



・ 人的資本投資、システム投資などの成長投資により経費は増加するも、業務粗利益の増加によりOHRは減少

経費・OHR



- ▶ 地方債を中心に投資し、前期中に売却した債券の一部を復元
- ▶ 半導体関連銘柄の株価上昇を起因とし、株式の時価が大きく増加

■ 運用残高（時価ベース）

【単位：億円】

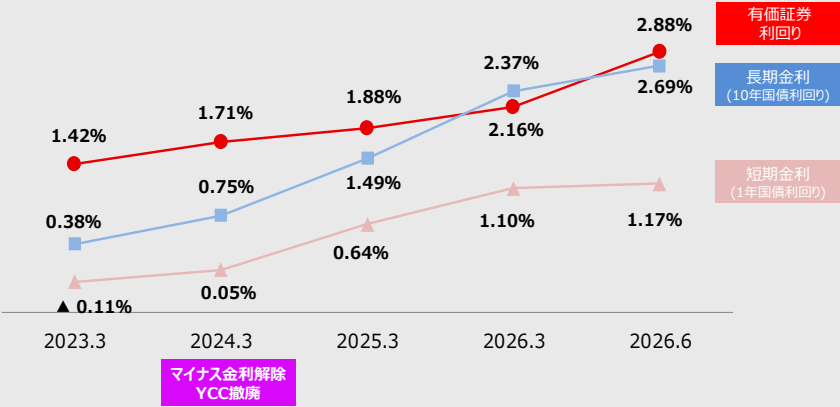
項目	2023.3	2024.3	2025.3	2026.3	2026.6	前期比
国債	3,242	5,381	5,063	3,049	2,892	▲157
地方債	2,281	2,317	1,947	3,012	3,540	528
社債	3,100	3,008	2,951	2,308	2,315	7
株式	2,876	3,487	3,061	3,693	5,625	1,932
その他の証券（外債・投信等）	3,687	4,409	5,034	5,222	5,419	197
外国証券	2,558	2,984	3,208	3,352	3,448	96
投資信託等	1,129	1,424	1,825	1,869	1,970	101
金銭の信託	270	303	323	333	339	6
合計	15,459	18,909	18,380	17,620	20,133	2,513

■ 評価損益

【単位：億円】

項目	2023.3	2024.3	2025.3	2026.3	2026.6	前期比
満期保有目的	▲51	▲82	-	-	-	-
その他有価証券	1,492	1,834	991	1,456	3,348	1,892
株式	1,827	2,392	1,925	2,589	4,513	1,924
債券	▲110	▲256	▲644	▲875	▲930	▲55
その他	▲224	▲301	▲290	▲258	▲234	24
うち外国証券	▲218	▲332	▲312	▲365	▲370	▲5
小計	1,440	1,751	989	1,454	3,344	1,890
繰延ヘッジ評価損益	224	434	500	636	642	6
合計	1,664	2,185	1,489	2,090	3,987	1,897

● 有価証券利回りの推移



● 円債デレーションの推移（繰延ヘッジ含む）

	2023.3	2024.3	2025.3	2026.3	2026.6
円債デレーション	5.19年	4.93年	4.11年	4.47年	4.53年

・10年ラダー型ポートフォリオを構築しており、円債デレーションは若干長期化

● 外債デレーションの推移（繰延ヘッジ含む）

	2023.3	2024.3	2025.3	2026.3	2026.6
外債デレーション	1.91年	1.82年	1.69年	1.57年	1.72年

・変動債中心のポートフォリオを維持

大きなデフォルトの発生はなく、与信コストは低水準を維持

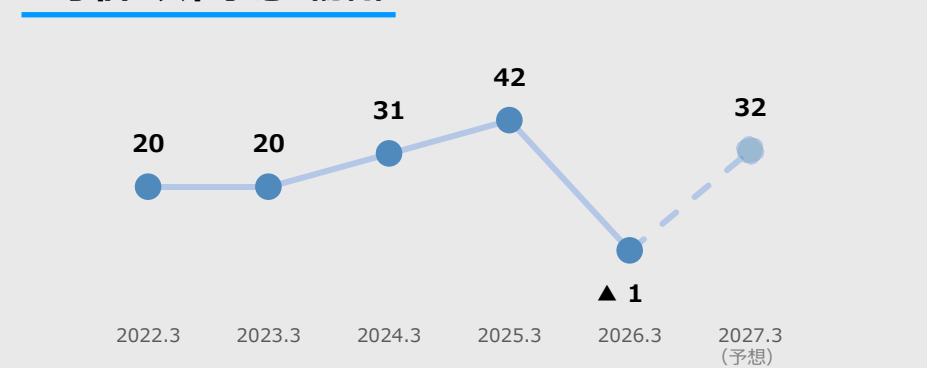
与信関係費用推移

【単位：億円】

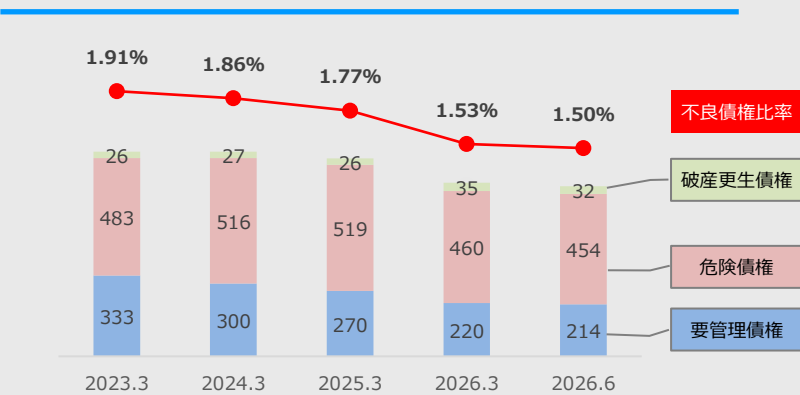
	2023.3	2024.3	2025.3	2026.3	2025.6	2026.6
与信関係費用	20	31	42	▲ 1	3	0
一般貸倒引当金繰入額	▲ 21	▲ 6	▲ 10	▲ 17	▲ 1	▲ 1
不良債権処理額	41	37	52	15	4	1
うち部分直接償却額	9	7	11	6	1	0
うち個別貸倒引当金繰入額	31	29	40	8	3	1

比率（与信関係費用÷総与信残高）	0.05%	0.07%	0.09%	▲ 0.00%	0.01%	0.00%
------------------	-------	-------	-------	---------	-------	-------

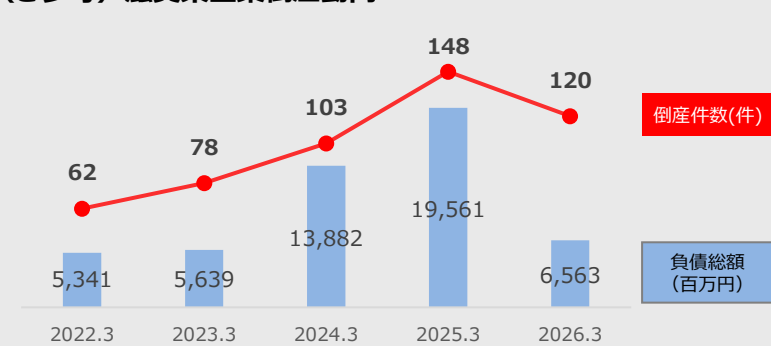
与信コスト予想（億円）



金融再生法開示債権（億円）・不良債権比率



（ご参考）滋賀県企業倒産動向



本資料に関するご照会先

本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。
将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。

<本資料に関するご照会先>

滋賀銀行 総合企画部経営企画グループ
電 話 077-521-2200
F A X 077-521-2890
ホームページ <https://www.shigagin.com/>

「三方よし」で地域を幸せにする

Sustainability Design Company

SHIGA BANK 